



Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 96



令和6年10月29日

今月のキーワード

英語教育実施状況調査 ～調査結果と今後の対応～



英語教育実施状況調査 ～調査結果と今後の対応～

栃木県教育委員会は、文部科学省が実施する「英語教育実施状況調査」の結果から本県における現状について分析を行い、今後の対応をまとめました。その概要を紹介しますので、英語教育の充実に向けて、各学校の取組の参考にしてください。QRコードを読み込むと説明動画を視聴することができます。ご活用ください。



① 言語活動の実施状況の割合（授業中、50%以上の時間、言語活動を行っている学校の割合）

R5	小学校	中学校
栃木県	94.8%	77.5%
全国	94.4%	75.2%

※小学校には義務教育学校前期課程
を中学校には義務教育学校後期課程
を含む

小・中学校共に全国平均より高い

（言語活動の充実に向けて）

- ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などを明確に設定し、活動を行う。
- ・「誰に」、「何のために」という「相手意識」や「目的意識」をもって、質問したり答えたりする必然性のある活動を工夫する。

② パフォーマンステストの実施状況（パフォーマンステストを実施している割合）

R5	小学校	中学校
栃木県	97.8%	87.2%
全国	96.7%	87.0%

小・中学校共に全国平均と同程度

（パフォーマンステストの実施に向けて）

- ・パフォーマンステストで測りたい英語力と単元等の目標を適切に関連付ける。また、CAN-DO リストを活用する。

③ CAN-DO リスト形式の学習到達目標の設定状況等について

R5 設定	小学校	中学校
栃木県	78.8%	98.0%
全国	84.5%	96.1%
R5 公表	小学校	中学校
栃木県	38.6%	61.8%
全国	58.2%	71.6%
R5 到達状況の把握	小学校	中学校
栃木県	68.1%	72.4%
全国	74.9%	80.7%

（小学校）全ての項目において、全国平均を下回っている。
（中学校）「設定」の割合は高いが、「公表」や「到達状況の把握」は、全国と比較すると低い。

（今後の対応と CAN-DO リストの活用例）

- ・教科書に掲載されている CAN-DO リストを活用する。また、CAN-DO リストに朱書きで追記・修正するなどして、自校化する。
- ・CAN-DO リストを児童生徒と共有する。
- ・CAN-DO リストに基づき、パフォーマンステストの評価基準を設定する。

④ 生徒の英語力の状況

- ・取得：外部試験などにより、CEFR A1 レベル相当（英検3級など）以上を取得している割合
- ・見取り：CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有すると思われる割合

R5	取得	見取り	合計
栃木県	25.1%	15.0%	40.1%
全国	27.9%	22.1%	50.0%

MEXCBT（文部科学省 CBT システム）には、英検等に準じた問題があり、生徒のタブレット端末に問題を配信することができます。教師は、生徒の回答状況や正答率を確認することができます。詳細につきましては、QRコードを読み込んで確認してください。



合計が国の目標値 50%に届かなかった。資格を取得していない生徒の「見取り」の工夫が求められる。

（今後の対応と具体例）

- ・パフォーマンステスト等を活用し、校内の英検3級取得者の英語力との比較を行う。
- ・デジタルを活用したパフォーマンステストの実施促進等のため、MEXCBT（文部科学省 CBT システム）を活用する。

（参考：栃木県教育委員会 動画資料）

英語でコミュニケーション DAY 各校の取組紹介



9/26（木）南河内小中学校

4年生が、買い物活動を行いました。児童がワークシートを見ずに、英語で進んで接客を行う姿が印象的でした。また、チャットタイムでは、ALT が出身国の紹介をしながら、児童と楽しく英語でやり取りを行いました。



10/1（火）細谷小学校

1～3年生は、ALT と一緒にクイズやダンスを行いました。4～6年生は、買い物活動を行いました。全校生で実施したワールドツアーでは、縦割り班ごとに5か国の活動を体験しました。元気に楽しく英語を学ぶことができました。



10/3（木）国分寺中学校

3年生が、日本文化についてのプレゼンテーションを発表しました。ALT に興味をもってもらえるように、工夫しながら発表を行いました。生徒は、ALT との英語でのやり取りを楽しむとともに、今までの学習の成果を確認することができました。